

令和3年度(2021年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

入力支援ツールの使い方

入力支援ツールとは

昨年度、調査票に設置していた情報入力シートを、「入力支援ツール」として独立させました。

I. 入力支援ツールのメリット

- 診断名を充実させた診断名リストで診断名検索を行なうことで、障害区分がわかりやすくなりました。
- 学生別に1人の情報を受験から支援内容まで1行に続けて入力できるため、学内各部署の情報集約がしやすく、支援内容と支援障害学生数の不一致等の照合が不要です。
- 学生別の情報のみ入力すれば良く、学校全体の集計作業がなくなりました。
- 前年度調査の情報入力シートをコピー&ペーストすることができるため、入学者の追加、卒業生の削除、在籍学生の支援内容の変更等を加筆修正すればよく、回答作業の負担が軽減します。

II. 入力支援ツールの構成

入力支援ツールは、以下の4つの「情報入力シート」を基本として構成されています。「情報入力シート」に入力された情報は、それぞれ、調査票回答欄を模したシートに反映されます。情報が反映するシートは以下の通りです。

○障害学生情報入力シート

- 5. 入学者数等
- 7. 障害学生数
- 8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳
- 9. 精神障害(他の精神障害)の内訳
- 10. その他の障害の内訳
- 11. 授業支援と授業以外の支援

○卒業生情報入力シート

- 6. 令和2年度卒業生

○発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シート

5. 入学者数等

12. 発達障害が疑われる学生への支援

○発達障害（診断書無・配慮有）卒業生情報入力シート

6. 令和2年度卒業生

調査票回答欄を模したシートに反映された内容のうち、赤の点線で囲まれた部分をコピーして、提出用調査票の回答欄に「値貼り付け」していただくことで、回答が完成します。

また、コピー&ペーストする前に、エラーを意味する黄色いセルがないことをご確認ください。

入力支援ツールは、提出不要です。学生の情報を入力後、保存しておくことにより、次年度回答時に、不要となった情報を削除し、新たな情報を追加することで、再利用していただけます。

※昨年度調査回答の情報入力シートの再利用※

昨年度の「情報入力シート」に入力された情報は、今年度の「入力支援ツール」内の「情報入力シート」にコピー&ペーストすることで、そのまま利用していただくことができます。ペーストする際は必ず「値貼り付け」してください。

III. 各シートの使い方

1. 診断名検索

このシートは、回答を入力するシートではなく、診断名から障害区分を検索するためのシートです。

障害学生に関する基本情報として、各入力シートで学生の障害種（障害大区分、障害小区分）を入力していただく際にご利用ください。

シートには、「診断名検索」と「診断名リスト」があります。

【診断名検索】

左端の赤い枠（診断名）に、診断名を記入してください。この診断名と全文一致する診断名に関する情報が、右側に表示されます。区分が明確なものは「障害大区分」と「障害小区分」が表示され、障害の様態によって区分の分かれるものは「参考情報」欄にその判断基準が表示されます。

診断名検索			
診断名	参考情報	障害大区分	障害小区分
	#N/A	#N/A	#N/A

【診断名リスト】

上記の「診断名検索」の元となるデータです。「診断名検索」では、診断名が全文一致しないと表示されないため、上記で障害区分がわからなかった場合には、こちらで検索してみてください。左端の診断名と記載されているセルでオートフィルターをかけると（右上の▼をクリックすると）、検索窓が表示されますので、ここに診断名を記入して「OK」をクリックすると、その文字列を含む診断名が表示されます。こちらは中間一致なので、複数の候補が表示されます。

診断名リスト			
診断名	参考情報	障害大区分	障害小区分
11β-水酸化酵素欠損症		病弱・虚弱	内部障害等
13トリソミー症候群		病弱・虚弱	内部障害等
17α-水酸化酵素欠損症		病弱・虚弱	内部障害等
17β-ヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症		病弱・虚弱	内部障害等
18トリソミー症候群		病弱・虚弱	内部障害等
1p36欠失症候群		病弱・虚弱	内部障害等
21-水酸化酵素欠損症		病弱・虚弱	内部障害等

※診断名検索でわからない場合は、次のメールアドレスにお問合せ下さい。

shienka02@jasso.go.jp

2. 障害学生情報入力シート

1人の障害学生の情報は1行に集約してください。1つの行に情報が入力されていれば、障害学生数1としてカウントされます。同じ学生の情報が2行に入力されていると、障害学生数もダブルカウントしてしまいますのでご注意ください。

【入力方法】

入力方法には、以下の3つがあります。

- ①プルダウンリストから選択する
- ②該当する欄に半角数字の1を入力する
- ③自由記述で入力する
- ④該当する場合半角数字を入力(1より大きい整数を入力可能)

このシートで入力していただくのは、以下の2つの情報です。

- (1) 令和3年度入学者選抜において把握した、障害のある受験生について
- (2) 令和3年度に在籍するすべての障害学生について

(1) 令和3年度入学者選抜において把握した、障害のある受験生について

回答の対象となるのは、D列からAU列までです。事前相談があった、受験したが入学しなかったという学生も含まれます。D列の「現況」を入力すると、入力不要の欄がグレーになります。

入試形態の定義については、「調査の手引き」の15ページをご参照ください。受験上の配慮の内容については、該当する配慮内容がない場合は「その他」を選択し、「その他の具体的内容」欄も記入してください。内容が複数ある場合は同じセルに併記してください。

入力結果は、「5.入学者数等」シートに反映します。

列	項目	入力方法
B	学内情報用1	③
C	学内情報用2	③
D	現況	①
E	課程	①
F	学科(専攻)	①
G	障害大区分	①
H	障害小区分	①
I	診断名	③
J	重複する発達障害	①
K	重複する精神障害	①
L	受験前に事前相談があった	②
M	志願した	④

N~Q	受験課程 学部(通学過程)	④
R	受験課程 学部(通信教育課程)~専攻科	①
S~V	合格した受験課程 学部(通学過程)	④
W	合格した受験課程 学部(通信教育課程)~専攻科	①
X~AT	受験上の配慮内容	②
AU	受験上の配慮内容 W その他の具体的内容	③

(2) 令和3年度に在籍するすべての障害学生について

新入生及び2年次以上のすべての障害学生の情報を入力してください。基本的な入力方法は、(1)と同様です。

入力対象は基本的にはすべての欄となりますが、D列の「現況」を入力すると、入力不要の欄はグレーになります。支援内容の定義については、「調査の手引き」17ページをご参照ください。

入力結果は、「7.障害学生数」「8.病弱・虚弱(他の慢性疾患の内訳)」「9.精神障害(他の精神障害)の内訳」「10.その他の障害の内訳」「11.授業支援と授業以外の支援」に反映します。

●新入生について

入試段階で把握した障害のある入学者については、すでに(1)で入力があるため、入学後の支援についても、(1)で入力した同じ学生の行に追加で入力してください。

入学してから相談があった、配慮申請があった等、入学後に把握した学生については、新たな行に、その学生の情報を入力してください。その場合、受験時の情報は入力不要です。

列	項目	入力方法
AV	休学中	②
AW	最低在学年限超過	②
AX	支援の申し出があった	②
AY~BZ	授業支援	②
CA	授業支援 その他の具体的内容	③
CB~CT	授業以外の支援	②
CU	授業以外の支援 その他の具体的内容	③

(3) 注意事項

- 現況(D列)は正しく入力してください
 - 空欄の場合、その行の記載内容は全て無効になります。
 - 「入学しなかった」と入力した場合、AV列「休学中」以降の記載は無効になります。
 - 「在籍者(2年生以上)」と入力した場合、L列「受験前に事前相談があった」からAU列「受験上の配慮内容 W その他の具体的内容」までの内容(受験に関

する記載)は無効となります。

- 障害大区分と障害小区分は正しく記入してください
 - 障害大区分は必ず記載してください。未記入の場合は、その行に記載した内容は全て無効になります。
 - 障害小区分は障害大区分に対応したものを記載してください。両者に不整合がある場合、その行の記載内容は全て無効となります。なお、障害大区分が「重複」や「その他の障害」である場合は、障害小区分は空欄にしてください。
 - 正しい例:
障害大区分「視覚障害」、障害小区分「弱視」
障害大区分「重複」、障害小区分は空欄
障害大区分「その他の障害」、障害小区分は空欄
 - 不整合がある例
障害大区分「視覚障害」、障害小区分「気分障害」
障害大区分「肢体不自由」、障害小区分は空欄
障害大区分「重複」、障害小区分「ASD」
- 「受験上の配慮」のうち「W その他の具体的内容」を記入する場合について
 - AT 列「W その他」に 1 を入力し、AU 列「W その他の具体的内容」に記入してください。
 - AT 列、AU 列のいずれかが空欄である場合、その行の「W その他」は無効になります。
- 「授業支援 その他の具体的内容」を記入する場合について
 - BZ 列「28 その他の授業支援」に 1 を入力し、CA 列「授業支援 その他の具体的内容」に記入してください。
 - BZ 列、CA 列のいずれかが空欄の場合、その行の「28 その他の授業支援」は無効となります。
- 「授業以外の支援 その他の具体的内容」を記入する場合について
 - CT 列「19 その他の授業以外の支援」に 1 を入力し、CU 列「授業以外の支援 その他の具体的内容」に記入してください。
 - CT 列、CU 列のいずれかが空欄の場合、その行の「19 授業以外の支援」は無効となります。

3. 卒業生情報入力シート

このシートでは、昨年度調査時(令和 2 年 5 月 1 日現在)に、大学は学部(通学課程)、短期大学は学科(通学制)、高等専門学校は本科の最高年次に在籍していた障害学生について入力してください。

令和 3 年 3 月 31 日までに卒業した学生については、就職を希望していたかどうか、及び卒業後の進路状況(令和 3 年 5 月 1 日現在)についても入力してください。入力方法は、障害学生情報入力シートと同様です。入力結果は、「6. 令和 2 年度卒業生」に反映します。

4. 発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シート

このシートでは、発達障害が疑われ、学校がなんらかの支援を行なっている学生について入力してください。入力方法は、「障害学生情報入力シート」と同様ですが、障害区分の項では、小区分(SLD、ADHD、ASD、区分不明)を入力してください。入力結果は、「5. 入学者数等」と「12. 発達障害が疑われる学生への支援」に反映します。

なお、受験上の配慮、または授業支援・授業以外の支援のうち、いずれかは、必ず記載してください。いずれも記入されていない場合、その行の記載内容は全て無効となります。

5. 発達障害(診断書無・配慮有)卒業生情報入力シート

このシートでは、発達障害が疑われ、学校がなんらかの支援を行なっていた卒業生について入力してください。入力方法は、「卒業生情報入力シート」と同様ですが、障害区分の項では、小区分(SLD、ADHD、ASD、区分不明)を入力してください。入力結果は、「6. 令和2年度卒業生」に反映します。

IV. 昨年度の情報入力シートの再利用

昨年度の「情報入力シート」の情報を再利用する場合には、以下の手順でコピー&ペーストしてください。

1. 令和2年度調査票の情報入力シートの内容をコピーする。

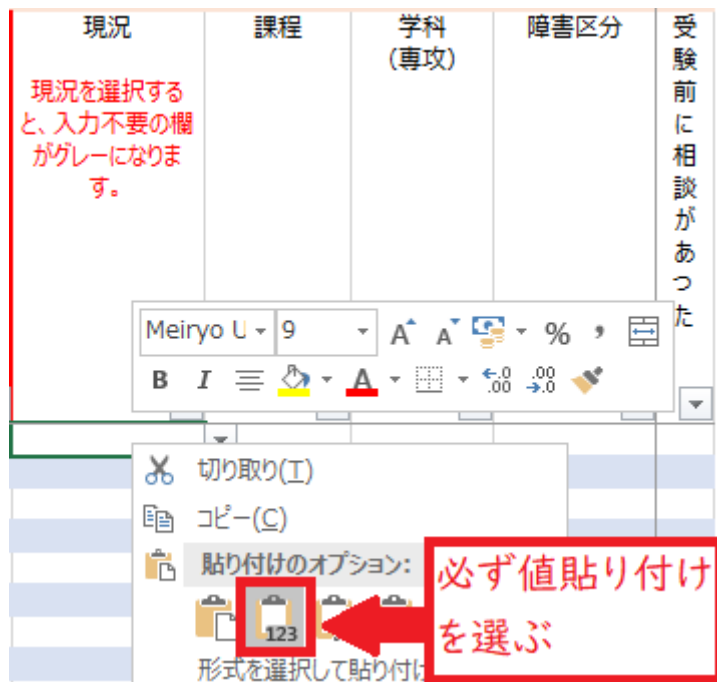
下図 IV-1 に示す通り、令和2年度調査票の情報入力シートに記載されている内容のうち、再利用したい箇所をコピーします。

【図 IV-1】(障害学生情報入力シートより抜粋)

現況	課程	学科 (専攻)	障害種別					受験前に相談があった
			障害大区分	障害小区分	診断名 <small>障害種に関わらず、不明でない限りできるだけ記入してください。また障害区分がわからない場合は、必ず記入してください。</small>	重複する発達障害	重複する精神障害	
入学者(1年 学部(通学生) 課程)	人文科学	視覚障害	盲			ASD	神経症性障害	1
入学者(1年 学部(通学生) 課程)	人文科学	視覚障害	弱視					1
入学者(1年 学部(通学生) 課程)	人文科学	聴覚・言語障害	聾					1
入学者(1年 学部(通学生) 課程)	人文科学	聴覚・言語障害	難聴					1
入学者(1年 学部(通学生) 課程)	人文科学	聴覚・言語障害	言語障害のみ					1

2. 令和3年度入力支援ツールの情報入力シートに値貼り付けを行う。
次に、下図 IV-2 に示す通り、令和3年度入力支援ツールのうち、対応する情報入力シートに、コピーした内容を「値貼り付け」をします。

【図 IV-2】



コピーした内容を張り付ける場合は、上図のように、必ず値貼り付けを行ってください。他の形式で貼り付けた場合、情報入力シートの関数や条件付き書式に問題が生じて、正常に機能しなくなる可能性があります。

V. 入力支援ツールの内容を調査票に貼り付ける方法

原則として、表ごとに値を貼り付ける形になります。具体例として、シート「6. 令和2年度卒業生」を挙げます。

➤ 貼り付けの例:シート「6. 令和2年度卒業生」

- 次の図 V-1 のように、入力支援ツール側の表「(1) 学部(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数」のうち、赤い点線で囲まれた部分をコピーします。

【図 V-1】

(1) 学部(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数		①	②	③
		R 最高年次障害学生数 R 2025年5月1日現在	R 卒業障害学生数 R 3月31日現在	②のうち就職希望者数
視覚障害	盲	0	0	0
	弱視	0	0	0
聴覚・言語障害	聾	0	0	0
	難聴	0	0	0
	言語障害のみ	0	0	0
肢体不自由	上肢機能障害	0	0	0
	下肢機能障害	0	0	0
	上下肢機能障害	0	0	0
	他の機能障害	0	0	0
病弱・虚弱	内部障害等	0	0	0
	他の慢性疾患	0	0	0
重複		0	0	0
発達障害 (診断書有)	SLD	0	0	0
	ADHD	0	0	0
	ASD	0	0	0
	発達障害の重複	0	0	0
精神障害	統合失調症等	0	0	0
	気分障害	0	0	0
	神経症性障害等	0	0	0
	摂食障害・睡眠障害等	0	0	0
	他の精神障害	0	0	0
その他の障害		0	0	0
計		0	0	0

- 続いて、図 V-2 のように、調査票側のシート「6. 令和 2 年度卒業生」を開き、コピーした内容を表「(1) 学部(通学課程) 最高年次及び卒業障害学生数」に 値貼り付け を行います。すると、図 V-3 のようにコピーした内容が貼り付けられます。

【図 V-2】

(1) 学部(通学課程) 最高年次及び卒業障害学生数

		①	②	③		
障害種別		R 最 2 高 5 次 1 害 日 学 現 生 在 数	R 卒 3 業 3 害 月 学 3 生 1 数 日 現 在 数	② の う ち 就 職 希 望 者 数		
視覚障害	盲 弱視					
聴覚・言語障害	聾 難聴 言語障害のみ					
肢体不自由	上肢機能障害					
	下肢機能障害					
	上下肢機能障害 他の機能障害					
病弱・虚弱	内部障害等 他の慢性疾患					
重複						
発達障害 (診断書有)	SLD					
	ADHD					
	ASD					
	発達障害の重複					
精神障害	統合失調症等					
	気分障害					
	神経症性障害等					
	摂食障害・睡眠障害等 他の精神障害					
その他の障害						

Meiryo U 11 A A

B I 123 fx %

形式を選択して貼り付け(S)...

必ず値貼り付けを選ぶ

(1) 学部 (通学課程) 最高年次及び卒業障害学生数		①	②	③
障害種別		R 最 2 高 年 年 5 次 月 障 1 害 日 学 現 生 在 数	R 卒 3 業 年 障 3 害 月 学 3 生 1 数 日 現 在 在	② の う ち 就 職 希 望 者 数
視覚障害	盲	1	1	1
	弱視	1	1	1
聴覚・言語障害	聾	1	1	1
	難聴	1	1	1
	言語障害のみ	1	1	1
肢体不自由	上肢機能障害	1	1	1
	下肢機能障害	1	1	1
	上下肢機能障害	1	1	1
	他の機能障害	1	1	1
病弱・虚弱	内部障害等	1	1	1
	他の慢性疾患	1	1	1
重複		1	1	1
発達障害 (診断書有)	SLD	1	1	1
	ADHD	1	1	1
	ASD	1	1	1
	発達障害の重複	1	1	1
精神障害	統合失調症等	1	1	1
	気分障害	1	0	0
	神経症性障害等	1	0	0
	摂食障害・睡眠障害等	1	0	0
	他の精神障害	1	0	0
その他の障害		1	0	0

表「(1) 学部 (通学課程) 最高年次及び卒業障害学生数」以外の表についても、同様の手順で、入力支援ツールの内容を貼り付けてください。

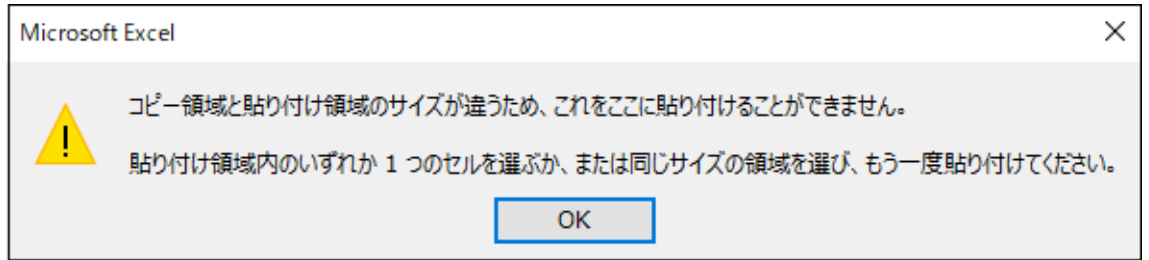
※各シートの注意事項※

➤ シート「5. 入学者数等」

- 表「その他の具体的内容」の値貼り付けについて

入力支援ツール側の表「その他の具体的内容」を、そのまま調査票側の表「その他の具体的内容」に値貼り付けをすると、仕様により、下図 V-4 のようなエラーが発生します。

【図 V-4】



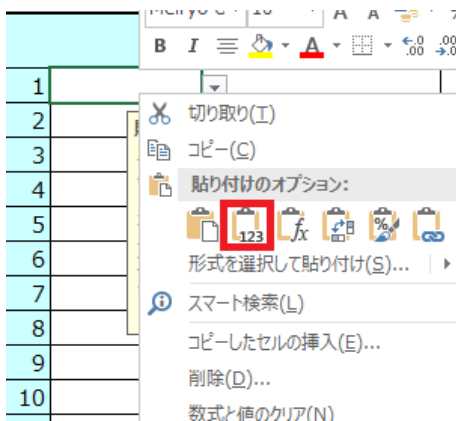
そのため、赤い点線で囲まれた部分を一つずつ貼り付けてください。まず、図 V-5 のように、入力支援ツール側の表「その他の具体的内容」のうち、障害大区分の列をコピーします。

【図 V-5】（入力支援ツール側の表「その他の具体的内容」）

障害種別		診断名
1	視覚障害	盲
2	視覚障害	弱視
3	聴覚・言語障害	聾
4	聴覚・言語障害	難聴
5	聴覚・言語障害	言語障害のみ
6	肢体不自由	上肢機能障害
7	肢体不自由	下肢機能障害
8	肢体不自由	上下肢機能障害
9	肢体不自由	他の機能障害
10	病弱・虚弱	内部障害等

続けて、調査票側の表「その他の具体的内容」にコピーした内容を、図 V-6 のように、値貼り付けします。

【図 V-6】（調査票側の表「その他の具体的内容」）



➤ シート「7. 障害学生数」

- 「発達障害との重複」、「精神障害との重複」の入力について

表「(1)学部(通学課程)の障害学生数」から表「(5)専攻科の学科(専攻)別障害学生数」まで、「精神障害との重複」と「発達障害との重複」の欄があります。

図 V-9 で示すように、入力支援ツール側の赤い点線で囲まれた部分を、それぞれ調査票に張り付けてください。

なお、セルに斜線が入っている箇所をまたいで貼り付けることはできません。

【図 V-9】

	視覚障害		聴覚・言語障害		身体不自由				弱病・弱慮		重複	発達障害(診断書有)			精神障害				その他の障害		
	盲	弱視	聾	難聴	言語障害のみ	上肢機能障害	下肢機能障害	上下肢機能障害	他の機能障害	内部障害等		他の慢性疾患	S L D	A D H D	A S D	発達障害の重複	統合失調症等	気分障害		神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

➤ シート「11. 授業支援と授業以外の支援」

- 斜線が引かれたセルについて

入力支援ツールからコピーした内容を、斜線が引かれたセルをまたいで貼り付けることは可能です。

- 表「その他の授業支援の具体的内容」、表「その他の授業以外の支援の具体的内容」シート「5. 入学者数等」の表「その他の具体的内容」と同様に、一列ずつコピーして貼り付けてください。

➤ シート「12. 発達障害が疑われる学生への支援」

- 斜線が引かれたセルについて

入力支援ツールからコピーした内容を、斜線が引かれたセルをまたいで貼り付けることは可能です。

- 表「※その他の授業支援の具体的内容」、表「※その他の授業以外の支援」シート「5. 入学者数等」の表「その他の具体的内容」と同様に、一列ずつコピーして貼り付けてください。